

# 健康への

## メッセージ

シリーズ②

### 家庭で急病人が出た時は： 脳卒中の場合

光町のみなさんこんにちは。今回は脳卒中の患者さんに対する緊急対処法についてお話ししたいと思います。脳卒中とは急性の脳血管性障害のことで、脳梗塞、脳出血、クモ膜下出血、一過性脳虚血発作などのことを差します。

これらの病気はどれも緊急性のあるものばかりですが、特に危険なのがクモ膜下出血です。これは脳の表面にある血管が破れて出血を起こす病気です。症状は突然の頭痛で頭をガーンと殴られたような痛みを訴える方が多いようです。同時に吐き気を伴うことが多いです。人によっては突然意識がなくなってしまうたり、稀ですがあつという間に呼吸が止まってしまう場合もあります。しかし、症状があまりはっきりせず診断が難しいケースもあり、厄介な病気です。症状のポイントはジワジワと痛くなるのではなく、突然にガーンと痛くなる、その痛みの始まり方です。

対処法ですが、この病気は初めの発作の後に再出血することがありますから、突然強い頭痛があったらあまり強い刺激はしない方が良いでしょう。できるだけ早く安静に病院へ来てください。動かすのが難しければ救急車を頼んでよいと思います。

次に脳出血と脳梗塞ですが、この二つは症状、対処法ともにあまり変わりがないのでまとめてお話しします。これらの病気は脳の内部

の血管が出血を起こすか、詰まって血液が行かなくなるかして、脳の一部が死んでしまう病気です。一旦血液の流れが悪くなるが、また流れ出す状態が一過性脳虚血です。症状は障害を受ける脳の部位によって違いますが、多く見られる症状は片方の手足が動かなくなったり、会話の呂律が回らなくなるなどです。しかし生命の中樞の脳幹部に病変があれば、突然意識がなくなったり、呼吸が止まってしまう事もあります。

対処法としてはこちらは安静にという必要はありません。しかし、もちろんのんびりしてよい状態ではありませんから、できるだけ急いで病院に来てください。

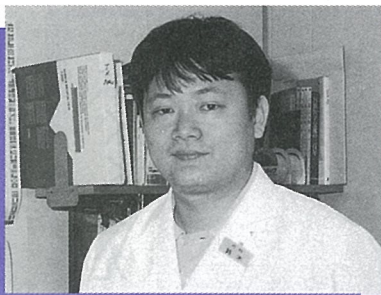
どちらにしてもまず、大切なのは状況をしっかりと把握する事です。触るのがこわい気がするでしょうが、まずははっきりとした声で名前を呼んで話し掛け、意識がはっきりしない状態なら、肩を叩きながらもう一度呼んでみてください。それでも返事がなければ呼吸状態をよくみて呼吸が無ければ、人工呼吸（口口呼吸・マウスツーマウス呼吸）が必要となります。脈が触れなければ心臓マッサージも必要です。後は急いで救急車を呼んでください。呼吸がしっかりしていたら慌てずに、患者さんの訴え、状態をはっきりと救急隊に伝えてください。吐き気がある時は横向きに寝かせて運ぶ時もそっと動かすようにしましょう。

まず大切なのは慌てない事です。

※東陽病院の休日当番日

1月10日(日)・31日(日) 午前9時〜午後5時

医師2名が待機・来院の際は電話を ☎1335



東陽病院 鈴木健士 内科医師

## 《おはなし会のご案内》

おはなしの世界に来てみませんか？

図書館では、毎週土曜日、午後2時から30分ほど、おはなしのへやで本の読み聞かせや素話（おはなし）を行っています。お母さんもいっしょに入れます。こわ〜いお話、ドキドキするお話などたくさんそろえてお待ちしております。

これからのおはなし会

- 1月9日 「十二支のはじまり」ほか
- 16日 「ほくはあるいた まっすぐまっすぐ」ほか
- 23日 「どんなにきみがすきか あててごらん」ほか
- 30日 「ねこのくにのおきやくさま」ほか

子供に聞かせたい

## ▷ 今月の一冊 ◁

「かさじぞう」

瀬田貞二 再話／赤羽末吉 画／福音館書店

貧乏でもやさしいおじいさんは、お正月のもちを買うために笠を売りに町へ行きました。しかし、1つも売れません。家に帰る途中、雪をかぶったお地蔵さまを見て、おじいさんは、自分の笠までもお地蔵さまにかぶせてあげました。



＝町立図書館＝  
☎043311



1月の休館日 11日、15日、18日、25日、29日 新年は1月5日(火)から開館。